

富士宮市の桜について、51号で紹介した”はるみん”さんから、貴重な情報を頂いたので、紹介させて頂く。

天然記念物に指定されている富士宮市の巨樹の桜

- ① 国指定特別天然記念物 「狩宿の下馬サクラ」 樹種 ヤマザクラ  
「駒止の桜」とも呼ばれ、源頼朝が富士の巻き狩りの時馬を繋いだ桜の枝が活着したと伝えられる。
- ② 県指定天然記念物「上条のサクラ」樹種 ヤマザクラ  
目通り（地上から1.3mの高さの幹周のことを言う）5.2m、山桜の老木で白樫と一緒にしている。
- ③ 市指定天然記念物 「フジキクザクラ（大石寺）」樹種 ヤマザクラ  
八重咲きのマメサクラで、日本一の花弁数を持つ。
- ④ 保存樹8号 「法蔵院 シダレザクラ」  
目通り5.21m 法蔵院により大切にされている。
- ⑤ 保存樹23号 「妙善寺シダレザクラ」  
目通り4.4m

参考までに、県指定天然記念物 「猪之頭のミツバツツジ」

花の見頃は4月20日頃で、地元ではイモウエツツジと呼ぶ。驚くほど大きく、雄大なミツバツツジで、とても有名。

(資料：市制50周年記念事業「富士山と富士宮」展図録、富士宮市教育委員会編集・発行)